

令和4年度WAM助成（通常助成事業） 要望書各項目の記載にあたって

●「要望書各項目の記載にあたって」作成の経緯

1/11～19にかけてオンライン募集説明会を実施した中で、多数のご意見をいただいたため、この度、「要望書各項目の記載にあたって」を作成しました。申込前の事前確認にご活用ください。

【目次】

P2～3	「1.団体概要」
P4	「2.応募事業の背景」
P5～6	「3.応募概要」
P7～10	「4.事業計画」
P11	「5.助成終了後の展望及び事業継続体制の計画」
P12	「6.事業実施体制」
P13～15	「7.その他関連情報」
P16	「8.要望額調書」

独立行政法人福祉医療機構（WAM）
NPOリソースセンター

令和4年度WAM助成 要望書各項目の記載にあたって

反社確認・不正行為確認は、いずれかを選択する項目のうち、☒がない場合又はいずれも☒がついている場合は、印刷欄外に「**要確認**」と表示されます。

1. 団体概要

POINT

- **団体名**は、定款、寄付行為又は運営規約等と一致するようにしてください。
- **法人番号**は、[国税庁HP](#)より検索できます。法人格を有しない等により、登録がない場合は空欄にしてください。
- **前身団体がある場合は**、法人格を含め記載してください。
- **SNSアドレス**は、Facebook、Twitter、Instagram等で更新頻度の高いもののアカウントを1つ記載してください。
- **収入・支出等は**、**理事会承認後の直近の数字**を記載してください。創設間もない場合は記載不要です。

令和4年度社会福祉振興助成事業〈通常助成事業〉要望書									
要件不備チェック欄			無		申請日		令和		年 月 日
(注意) 過去5年以内にこの申請の団体及び関係者が暴力団等反社会的勢力に該当し、又は反社会的勢力と関係を有する場合には、助成をお断りしております。									
当該事実の有無			有		無				
(注意) 過去において法令等に違反する等の不正行為を行い、不正を行った年度の翌年度以降5年を経過していない場合には、助成をお断りしております。									
当該事実の有無			有		無				
1. 団体概要									
組織形態 フルタイムで勤務している役員									
団体名 組織形態はご記入下さい									
法人番号 付添されている場合は									
前身団体名									
住所： 都道府県									
TEL： 都道府県									
FAX： 都道府県									
e-mail： 都道府県									
URL： 都道府県									
SNSアドレス：									
本部所在地 本部所在地と異なる場合は記載してください									
住所： 都道府県									
TEL： 都道府県									
FAX： 都道府県									
氏名： 都道府県									
役職名： 都道府県									
TEL： 都道府県									
携帯： 都道府県									
FAX： 都道府県									
e-mail： 都道府県									
連絡可能時間帯： 都道府県									
現在の団体 都道府県									
前年度の収入総額：（ ）円									
前年度の支出総額：（ ）円									
前年度の寄付収入額：（ ）円									
団体の段階 いずれか一つを選択してください									
立ち上げ期									
事業確立期									
発展・成熟期									

令和4年度WAM助成 要望書各項目の記載にあたって

1. 団体概要 (つづき)

POINT

- ・以下2点に触れてください。
- ① 団体設立の理由や経緯
- ② 設立後、活動する上で心がけてきたこと
(活動指針や配慮、大切にしていること等)

団体の設立趣旨（設立の理由や経緯）・活動をする上で心がけてきたこと（380字以内）		◆審査項目（1）事業実施体制（活動実績、実施者適性）の確認項目となります。 ◆活動を始めた経緯や団体の設立経緯について、記載してください。また、活動をするうえで心がけてきたことなどがあれば記載してください。					
過去5ヵ年におけるWAM助成（社会福祉振興助成事業）の利用実績について 過去5ヵ年における利用実績について該当する場合○を入れてください（前身団体の実績も含む）。複数回実績を有する場合は、該当する全てに○を入れてください。なお、過去5ヵ年の助成利用実績がない場合は「利用実績なし」に○を入れてください。							
H29年度	H30年度	H31年度 (R1年度)	R2年度	R3年度	過去5ヵ年の 利用実績なし		
役職員数	役員数	人	職員数	人	うち有給職員数	人	
ボランティア数	人						
会員数	団体会員	団体	個人会員	人			

* 役職員数には、団体内部の人を、ボランティア及び会員には、団体外部の協力者を、記載してください。

令和4年度WAM助成 要望書各項目の記載にあたって

2. 応募事業の背景（各650字以内）

POINT

・以下の内容を記載してください。

- ①これまでの取り組み
- ②そのなかで見えてきた地域・社会の課題や対象者・関係者のニーズ

* 数値や目の前で確認した課題・ニーズを記載。

POINT

・上記の課題・ニーズに対し、以下の内容を記載してください。

- ①貴団体が取り組む理由・事業の必要性

* 行政の施策や他団体の取り組みだけでは課題・ニーズへの対応が難しい状況を踏まえ記載。

2. 応募事業の背景

これまでの取り組み及びそのなかで見えてきた地域・社会の課題や事業の対象者・関係者のニーズを記載してください。

- ◆審査項目（2）事業の目的、内容等の妥当性（事業の目的及びその必要性）の確認項目です。
- ◆令和3年度WAM助成を受けている場合は、「これまでの取り組み」にその内容や実績、今回の応募事業とのつながりを含めて記載してください。

これまでの取り組み、そのなかから見えてきた課題や把握したニーズ（650字以内）

上記課題や把握したニーズに対し、行政の施策や他団体の取り組みを踏まえ、貴団体が取り組む理由を記載してください。

- ◆審査項目（2）事業の目的、内容等の妥当性（事業の目的及びその必要性）の確認項目です。

上記課題やニーズに対し貴団体が取り組む理由（650字以内）

令和4年度WAM助成 要望書各項目の記載にあたって

3. 応募概要

POINT

■助成テーマ

- * 最もあてはまるテーマを1つだけ選択。
- * WAM助成募集ページに掲載している「各テーマに関連するキーワードや事業の例」を参照。

■応募事業名

- * 対象分野や実施する内容を踏まえて記載。
例) コロナ禍で困窮した●●への寄り添い相談事業

■事業概要

- * 「目的」と「内容」を盛り込んで記載。

POINT

■助成区分

- * 該当する助成区分を募集要領で必ず確認。

■主な事業実施地域

- * 応募事業の範囲を記載（実行可能な範囲）。

■事業の主な対象者

- * 最も重視する対象者には「◎」を入力。

3. 応募概要				
■助成テーマ（ブルダワンから最もふさわしいテーマを選択してください）				
■応募事業名（30字以内で具体的に記載してください）				
事業				
■事業概要（「～することを目的に～を行う事業」のように300字以内で記載してください）				
〇〇〇〇をすることを目的に〇〇〇を行う事業				
応募事業について				
■助成区分（どちらか一つに○をしてください）				
地域連携活動支援事業		全国的・広域的ネットワーク活動支援事業		
■主な事業実施地域（180字以内）				
〇〇県〇〇市、〇〇市、 〇〇町				
■事業の主な対象者（複数選択可。あてはまる対象者層には○を、最もあてはまる対象者層には◎をしてください）				
子ども・子育て家庭	障害児・者	生活困窮者	高齢者・介護者	
被災者	若者	支援者	地域住民	
◎ その他（ ）				
■主たる事業が「中間的支援」である場合は、右記項目に「○」を選択してください。				

令和4年度WAM助成 要望書各項目の記載にあたって

3. 応募概要（つづき）

POINT

・項目に該当する場合は、以下の内容を記載

- ①新型コロナウイルス感染症の影響により拡大した課題・ニーズ
- ②上記課題・ニーズへの対応

* 以下Q&Aを踏まえて記載を検討。

Q.「新型コロナウイルス感染症の影響により拡大した課題・ニーズに対応する事業」のうち、「新しい取り組みの創出や既存の仕組み等の変革に対応するもの」に重点をおく理由を教えてください。

A.新型コロナウイルス感染症の影響により拡大した課題・ニーズに対応する事業は、その全てが必要な事業であると認識しています。長期的な視点に立ちながら取り組む活動の後押しが可能である「助成」という財源の特性を活かし、既存のアプローチとは異なる実験的な試みや抜本的な見直しに着手して課題に対応する事業に重点を置くことで、Withコロナ時代の社会に必要な事業を積極的に支援したいと考えています。

新型コロナウイルス感染症予防に係る衛生対策について（200字以内）	新型コロナウイルス感染症予防に係る衛生対策について、その内容を記入してください。（200字以内）		
新型コロナウイルス感染症の影響により拡大した課題・ニーズ及びその対応（250字以内）	新型コロナウイルス感染症の影響により拡大した課題・ニーズへの対応の有無	有	無
	（上記項目で「有」を選択した場合のみ記載してください） 新型コロナウイルス感染症の影響により拡大した課題・ニーズへの対応に該当する事業であって、【新しい取り組みの創出や既存の仕組み等の変革に対応するもの】に該当する場合は、「新型コロナウイルス感染症の影響により拡大した課題・ニーズ」の内容を具体的に記載し、その対応策について「4. 事業計画」の内容と関連づけて記載してください。（250字以内）		
	団体が把握している拡大した課題・ニーズは、〇〇である。その拡大した課題・ニーズの対応策として、を計画している。		

* 「2. 応募事業の背景」と重複していても構いません。

* 該当「無」を選択した場合でもそれにより不採択となることはありません。

令和4年度WAM助成 要望書各項目の記載にあたって

4. 事業計画（計2,600字以内）

POINT

- ・以下の内容を記載してください。

【事業内容】欄（左側）

柱立てNo.（←複数の内容を含む場合）

- ①目的
- ②内容
- ③実施場所（拠点名および住所）・方法
- ④実施期間・日時
- ⑤予算（主な経費・概算額）

【数値目標】欄（右側）

- ⑥実施回数
- ⑦対象者の層
- ⑧1回あたりの実人数及び延べ人数

* 字数の限り、具体的に内容を記載。

* 複数の内容を含み、書ききれない場合は、次ページの項目等で補足できるか検討。

4.事業計画	
具体的な事業内容及び数値目標 ※各項目について、枠の範囲内で記載ください。 ※上段に収まらない場合は下段をご利用ください。	
事業内容 柱立てNo.、①目的②内容③実施場所（拠点名及び住所）・方法④実施期間・日時⑤予算（主な経費・概算額） （上段、下段各 1,300字以内） ◆審査項目（2）事業の目的、内容等の妥当性（計画の妥当性）の確認項目です。	数値目標 柱立てNO.、⑥実施回数⑦対象者の層⑧1回あたりの実人数及び延べ人数（上段、下段各420字以内）
上段 柱立て1：「孤立しがちな家族の居場所運営事業」 ①目的 経済的に困窮状態又は地域で孤立しがちな家族が虐待やDV等の状況を生まないために、地域住民や専門家が継続的に関わる体制を構築することを目的とする ②内容 定期的なこども食堂及び学習支援を実施 ③場所（地域）〇〇公民館（〇〇市）、空き家を改装した〇〇ハウス（〇〇町） ④日時 〇〇公民館：毎週火曜、〇〇ハウス：毎週土曜の午後 ⑤予算（主な経費・概算の総額） 概算費用80万（賃金、家賃、謝金、消耗品費等）	柱立て1 ⑥実施回数 〇〇公民館：週1回、年45回 〇〇ハウス：週1回、年間45回 ⑦対象者層 地域の困窮状態にある子供及び保護者 ⑧1回あたりの実人数及び延べ人数 各約110人 延べ約900人（2か所計）
下段 柱立て2：「スタッフ育成講座」 ①目的 居場所スタッフの育成 ②内容 外部専門家等による研修会 ③場所 〇〇公民館 ④日時 月1回 ⑤予算 概算費用60万（会場借料、謝金、旅費、消耗品費等）	柱立て2 ⑥実施回数 月1回、年間12回 ⑦対象者層 スタッフ、ボランティア ⑧1回あたりの実人数及び延べ人数 現場スタッフ、延べ60人

上記は例示となります。作成の際は実際に活動に合わせてご記載ください。7

令和4年度WAM助成 要望書各項目の記載にあたって

4. 事業計画（つづき）

POINT

- ・ 該当がある場合のみ記載してください。

【新たな取り組み】欄（上段左側）

- * 例）フードバンク活動とは別に、新たに「専門相談」を実施する場合
⇒専門相談の「柱立てNo.」を記載

【既存事業の拡充】欄（上段右側）

- * 例）フードバンク活動の内容に拡充を図る場合
⇒該当する「柱立てNo.」及び拡充を図る内容を記載

【事業の特色】欄（下段）

- * 応募事業の内容について、各地の他団体による同様の事業がみられる等の状況において、応募事業がどのような特色を持っているか、補足すべき内容があれば記載してください。
(例：取り組みの工夫や対象者の層、運営体制、配慮事項など)

新たな取り組み、既存事業の拡充に該当する場合は下記に記載してください。【該当がある場合のみ記載】	
新たな取り組み (100字以内) 上記事業の柱立てで新たな取り組みがあればその柱立てNoを記載してください。 例) 柱立て No.2	既存事業の拡充 (200字以内) 上記の柱立てで既存事業の拡充があればその柱立てNo及びその拡充内容を記載してください。 例) 柱立てNo.1 拡充内容： 既存の会場に加え、 ニーズの多い地域での 新しい会場での実施
実施する事業の特色があれば記載してください。 事業の特色 (350字以内)	

令和4年度WAM助成 要望書各項目の記載にあたって

4. 事業計画（つづき）（600字以内）

POINT

- ・ 以下の内容を記載してください。
応募事業の実施により・・・

①期待される成果

②その成果の確認方法

* 以下の視野を踏まえ、記載を検討。

- ・ 「受益者（支援の対象者）にとって」
- ・ 「関係機関にとって」
- ・ 「地域・社会にとって」

* 「成果の捉え方」は、以下Q&Aを参照。

Q. 審査項目に含まれる「助成の成果」や「費用対効果」における「成果」や「効果」は、どのような意味合いで捉えればよいのでしょうか。

A. 量的な側面から効果をみる場合と、受益者や関係者のニーズを満たす等、質的な側面から効果をみる場合があります。応募事業の目的や事業展開の構想次第で重視する成果（効果）は異なるものと認識しています。

また、要望書の「期待される成果」の項目では、変化や効果の他に「事業を通じて明らかになること」を位置付けています。例えば、制度の狭間の状況はなぜ生じているのか、それらを明らかにし、今後の政策に役立てることや社会に新たな認識を広げることも助成の成果と考えます。

応募事業の実施により期待される成果とその確認方法（600字以内）

要望書「2. 応募事業の背景」に挙げられている課題やニーズに対して今回の応募事業を実施することで、受益者や関係機関、地域・社会にとってどのような成果（変化や効果、事業を通じて明らかになること等）が期待できるか、またどのようにその成果を確認するのか、を記載してください。

◆審査項目（2）事業の目的、内容等の妥当性（助成の効果）の確認項目です。

例1）今次事業を実施することにより誰（受益者、関係機関、地域・社会）に〇〇といった効果が表れることが期待される。それを〇〇により確認する。

例2）〇〇といったことが事業を通じて明らかになることが期待される。それは〇〇により明らかにする。

* 量的な成果のみを重視するわけではありません。

* 成果の内容には、アンケートやヒアリング、日誌等の記録によって、確認できるものを位置づけることも大切です。

令和4年度WAM助成 要望書各項目の記載にあたって

4. 事業計画（つづき）（600字以内）

POINT

・以下の内容を記載してください。

- ①事業普及に向けた取り組み
- ②広報の工夫

*以下の視点を参考としてください。

- ①事業の対象者への発信
- ②事業の成果を普及する相手への発信

*「事業報告書」の作成・配布の検討の際には、以下Q&Aを参考にしてください。

Q.応募書類内の「報告書の作成・配布」とは具体的にはどのようなものでしょうか。

A.報告書は、助成事業で取り組んだことやその成果（変化や効果、実施したことを通じて明らかになったこと等）を広く普及することを目的に作成してください。WAM助成は国庫補助金が原資であり、事業やその成果の普及は重要なものですので、成果報告書の作成は必須となります。※過去の助成先団体の報告書や成果物は当機構ホームページの電子図書館（eライブラリー）で閲覧することができますので参考にしてください。

事業普及に向けた取り組み	<事業普及に向けた取り組み>（※事業報告書の作成は必須） ◆審査項目（2）事業の目的、内容等の妥当性（計画の妥当性及び助成の効果）の確認項目です。			
	事業普及に向けた取り組みを下記より選択してください（複数選択可）。また、事業の対象者に事業を普及するための具体的な取り組み（広報手段）及び広報の工夫について記載してください。（400字以内）			
	☐ チラシ等紙媒体での発信	☐ HP・SNSでの発信	☐ イベント、報告会等の開催	☐ メールリスト等、既存の関係者への発信
	☐ メディアを通じた発信	☐ その他（ ）		
具体的な取り組み（広報手段）及び広報の工夫（400字以内）				
必須				
①目的：居場所の必要性を地域住民に伝える ②仕様：A4サイズの両面カラー500部 ③配布先・配布部数：社協、自治会、PTA、行政機関、福祉施設、児童館500名 ④配布時期：令和5年2月 ⑤ ⑤予算（主な経費・概算額）印刷費、通信運搬費60万円				
資金計画	事業費	助成金	合計	
※要望額調査から白	うちD 収入合計	-	千円	
で反映されます	うち助成金	-	千円	

*ここで記載する報告書は、WAMへの報告のためのものではありません。

令和4年度WAM助成 要望書各項目の記載にあたって

5. 助成終了後の展望及び事業継続体制の計画（各450字以内(※展望については+200字)）

POINT

〈当該事業の2か年採択の希望有無〉

＊「希望有無」のいずれかを必ず選択。

〈助成終了後の展望〉

＊展望では、「応募事業を発展させることで、目指したい姿（地域・社会の状態）」を描いてください。

＊「短期的な取り組み」は、これから2,3年の間を想定してください。

〈事業継続体制の計画〉

＊以下のQ&Aの視点を参照。

Q. 審査項目の「自立的継続性・将来発展性」における「自立的継続性」とは、どのようなイメージで捉えて計画を検討すればよいでしょうか。

A. 「自立的継続性」については、団体による事業継続という視点とともに、地域に支援活動やリソースが持続されるといった視点も含みます。制度の対象外となるニーズ等に対応する場合、サービス提供（事業化）による自立的継続は難しい状況が多くみられ、また、事業の継続を過度に意識することで、支援を特に必要とする方々が置き去りになったり、本人の自立の妨げにつながる危険性があることには留意が必要です。

他方、助成先へのアンケートによれば、「継続につながった取組」として、多くの団体が「他団体との連携構築」や「報告書配布など成果普及の取組」を挙げています。こうした取り組みを行い、協力関係を外部につくことで、会費・寄付の増加や行政で制度化等に結び付く事例がみられています。

5. 助成終了後の展望及び事業継続体制の計画

＜当該事業の2か年採択の希望有無＞
今回の応募において、2か年にわたって採択することを踏まえた審査について、希望有無を教えてください。

希望する 希望しない

＜助成終了後の展望＞ 本事業を今後、地域や社会にどのように発展させていくか、目指したい姿に到達するための方向性を下記(1)～(5)より選択し（複数選択可）、「助成終了後の展望」及び「目指したい姿に到達するための方向性に向けた短期的な取り組み」を記載してください。

◆ 審査項目（4）自立的継続性・将来発展性（将来発展性）の確認項目となります。

(1) 住民同士の支え合いの仕組みづくり (2) 専門職・関係機関の連携・ネットワークの拡充 (3) 行政との連携強化や政策化・制度化
(4) 事業の広域展開 (5) その他()

助成終了後の展望（450字以内）

助成終了後の展望及び事業継続体制の計画について

上記で選択した方向性に向けた短期的な取り組みを記載してください。（200字以内）

＜事業継続体制の計画＞ 事業継続のための方針を下記より選択し（複数選択可）、そのために助成期間中から取り組む具体的な内容を記載してください。

◆ 審査項目（4）自立的継続性・将来発展性（自立的継続性）の確認項目となります。

行政での制度化・モデル事業化による継続 寄付・会費等による継続 参加費等の事業収入確保による継続
連携体制の強化による継続 内部体制強化（人材確保等）による継続 その他()

事業継続に向けて助成期間中から取り組む具体的な内容（450字以内）

令和4年度WAM助成 要望書各項目の記載にあたって

6. 事業実施体制（650字以内）

POINT

〈内部の運営体制について〉

* 事業実施が可能であることを具体的に記載してください。

〈連携団体について〉

- * 1団体以上との連携が要件となっています。
- * 連携団体には、民間団体以外の行政や企業等も含めた想定を立ててください。個人は含みません。
- * 連携団体数以外に、「連携先」の想定や、「連携状況」も踏まえた総合的な審査となります。
- * 以下のQ&Aを参考に連携団体の選定や、記載について検討してください。

Q.助成の要件である「連携」にはどのようなことが期待されているのでしょうか。

A.WAM助成では、連携・協働体制をつくり、さまざまな分野の団体がそれぞれの目的を共有し、得意とする活動を協力して行うことで、個々の団体では対応できない課題に総合的に取り組むことが期待されています。

また、地域共生社会の実現に資するという観点からは、連携することで、活動範囲の拡大や制度化、地域の支援体制の整備などを目指し、その結果、地域や社会で一人ひとりが支援を必要とする際に頼ることのできるリソースが増えることを期待します。

6.事業実施体制 ◆審査項目（1）事業実施体制（実施体制、専門性等）の確認項目となります。

<内部の運営体制について>

①事業の柱立てNO、②構成メンバーの名前、③メンバーの有する経験・専門性等の状況④メンバーの役割について記載してください。（650字以内）

柱1：〇〇事業

〇〇氏（団体代表 社会福祉士 全体統括）

〇〇氏（連携団体役員 元学校職員 現場の子供とのかかわり）

〇〇氏（市役所職員 制度化に向けた調整）

<連携団体について> ※連携団体が1つもない事業は助成対象外となります

・連携団体については、募集要領「3. 助成対象事業（1）助成の要件等」をご覧ください。

・連携団体の総数を入力し、下表に連携団体の情報を記載してください。表に収まらない場合は、主な連携団体を下表に記載のうえ、別紙1に残りの連携団体分をお示しください。

連携団体総数		〇団体 ◆審査項目（1）事業実施体制（連携・協働）の確認項目となります。			
連携先が関わる柱立てNO 複数入力可	連携団体名	担当者	連携団体の特徴	連携団体の役割	連携状況 (フルタイム兼勤)

本表に収まらない場合における別紙の記載有無 別紙1は [こちら](#) ☐ 有 ☐ 無

令和4年度WAM助成 要望書各項目の記載にあたって

7. その他関連情報 (つづき)

POINT

- ・ これまでどのようなことに取り組んできたのか、箇条書きで記載してください。
- * 多数の実績がある場合は、今回の応募事業に関連する活動を優先的に記載してください。
- * 活動を自主財源以外の財源（助成金や補助金等）により実施している場合は、その助成金名や金額も記載してください。

【活動実績等】 ◆審査項目（1）事業実施体制（活動実績）の確認項目となります。		
主な活動実績とその財源 (前身団体含む)	年度 (西暦)	活動実績 ※多数の実績がある場合、今回の応募事業に関連する活動を記載 活動財源 (財源種類及び額)
		〇〇 〇〇事業 自主財源 〇〇千円
		〇〇 〇〇事業 〇〇財団助成 金〇〇千円
		〇〇 〇〇事業

令和4年度WAM助成 要望書各項目の記載にあたって

7. その他関連情報 (つづき)

POINT

- ・ 該当する場合は、記載してください。

* 他の助成等への応募について

* 以下のQ&Aを参照。

Q.他の助成等への応募について

A.同時に応募することは可能です。
ただし、同一事業について、複数の助成等が採択になった場合は、重複して助成を受けることはできません。この場合は、WAM助成か、他の助成等のいずれか選んでいただくこととなります。（※同一事業とは事業内容が同じであり、かつ、時期 又は事業実施場所等が同一であることをいいます。）

【他の助成・補助・委託への応募状況】

今回応募する事業と同一の事業について、他の助成・補助・委託（以下、「他の助成等」）への応募状況を下記に記載してください。更に他に該当がある場合は、別紙3に記載してください。

他の助成等への応募 (該当するものに○を してください)	あり	→	結果待ち	助成等の決定	不採択
	なし		応募を検討中		
応募先機関 ・団体名	今回の応募内容と同一事業ですか？				
	はい いいえ				
応募事業名					
実施期間	年	月	～	年	月
他の助成等への応募 (該当するものに○を してください)	あり	→	結果待ち	助成等の決定	不採択
	なし		応募を検討中		
応募先機関 ・団体名	今回の応募内容と同一事業ですか？				
	はい いいえ				
応募事業名					
実施期間	年	月	～	年	月
更に他に該当がある場合における別紙の記載有無	別紙3は	こちら	有	無	

【助成対象者の要件について】※一般社団法人又は一般財団法人のみお答えください

■法人税法上の非営利型法人の要件について
(平成26年3月国税庁「一般社団法人・一般財団法人と法人税」P.2非営利型法人の要件を参照の上、①～④のいずれか1つに○をしてください)

①非営利性が徹底された法人	1 剰余金の分配を行わないことを定款に定めていること 2 解散したときは、剰余財産を国・地方公共団体や一定の公益的な団体に贈与すること等を定款に定めていること 3 上記1及び2の定款の定め違反する行為(上記1、2及び下記4の要件に該当していた期間において、特定の個人又は団体に特別の利益を与えることを怠ります。)を行うことを決定し、又は行ったことがないこと 4 各理事について、理事とその理事の親族等である理事の合計数が、理事の総数の3分の1以下であること
②公益的活動を目的とする法人	1 会員に共通する利益を図る活動を行うことを目的としていること 2 定款等に会費の定めがあること 3 主たる事業として収益事業を行っていないこと 4 定款に特定の個人又は団体に剰余金の分配を行うことを定めていないこと 5 解散したときにその剰余財産を特定の個人又は団体に贈与させることを定款に定めていないこと 6 上記1から5まで及び下記7の要件に該当していた期間において、特定の個人又は団体に特別の利益を与えることを決定し、又は与えたことがないこと 7 各理事について、理事とその理事の親族等である理事の合計数が、理事の総数の3分の1以下であること
③採択後すみやかに①又は②に移行する予定	
④上記にはどれも該当しない	

8. 要望額調書

- ・入力には要望書内の「インプットシート」をご活用ください。
- ・内訳を直接入力する場合は、「要望額調書」シートを選択し、印刷範囲外の「手入力欄」に直接入力してください。
- ・「要望額調書」記載にあたっては、要望書（エクセル）内のシート「要望額調書記入の方法・注意事項」を必ずご確認ください。

[illegible]

WAM助成の相談窓口のお知らせ

WAM助成では、助成金のご応募をお考えの方のために助成相談窓口を常設しています。

ご不明な点がございましたら、どうぞお気軽にご相談ください。

《お問い合わせ先》

①電話 ☎ 03-3438-4756

受付時間：月曜日～金曜日 9:00～17:00（土日祝祭日を除く）

②メール

WAMホームページ「お問い合わせフォーム」よりご連絡ください。

<https://www.int.wam.go.jp/wamhp/hp/info-tabid-640/info-wamjosei01-tabid-2106/>



※直接面談は、現在、新型コロナウイルス感染症の影響により、受付を停止しています。